

# **Singer Song Writer Lite9**

はじめてDAWに触れる人から使いこなしたい人まで

平賀宏之

協力■株式会社インターネット

FOR WINDOWS

version 9.5 差分

Stylenote

### CONTENTS

### 第12章

### Singer Song Writer Lite 9.5の新機能

1	Singer Song Writer Lite 9.5になって進化したもの・・・・・・・4
2	シャッフル入力モード・・・・・・・5
3	ピアノロールエディタのマトリクス表示 ・・・・・・・7
4	プラグインの規格に合わせて中央Cの位置を変更 · · · · · · · 10
5	コントローラ入力画面によるデータ入力モードの切り替え・・・・・・12
6	より自然になったボーカルエディタのビブラート設定 ・・・・・・・16
7	オリジナルのフレーズ・アレンジデータの作成 ・・・・・・19
8	自動バックアップ機能・・・・・・22
9	VSTのサブメニュー位置をカスタマイズ・・・・・・23
10	VSTメニュー階層化の表示方法を選択・・・・・・ 26
11	新しく収録されたプラグインシンセ・・・・・・29
12	新しく収録されたプラグインエフェクト・・・・・・31
	「STEREO DELAY」 / 31
	[REVERB 2] / <b>32</b>
	「Adv.Pitch Shift 2」 / 32
	[Pitch Shift RT] / 33

Singer Song Writer、ABILITY は、株式会社インターネットの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Outlook Express、Windows Media Player、Windows Media および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国および、その他の国における商標または登録商標です。

Reason、ReWire は Propellerhead Software AB の商標です。 Cubase、VST、ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH 社の登録商標です。

VOCALOID™はヤマハ株式会社の登録商標です。

その他の商標や登録商標は、それぞれの会社に属します。

### 第12章

## Singer Song Writer Lite 9.5の新機能

Singer Song Writer Lite シリーズは、バージョンを重ねるごとに様々な機能が追加され進化してきました。便利になって色々なことができるようになった分、覚える操作もまた増えています。

この差分 PDF では、既刊の書籍『イチからはじめる Singer Song Writer Lite9』の発売後にバージョンアップした「Singer Song Writer Lite9.5」で新たに追加された機能について解説しています。

書籍とこの差分 PDF は、幅広い層の方が気軽に「Singer Song Writer Lite」の機能を使えるようにと作成しております。そのためすべての機能、また使い方の詳細までを補足しきれていないところもあるかと思いますが、書籍や差分 PDF が少しでも楽曲制作の手助けになれば幸いです。

### Singer Song Writer Lite 9.5 になって進化したもの

Singer Song Writer Lite 9 が Singer Song Writer Lite 9.5 にバージョンアップしました。このバージョンアップでは上位モデルの「ABILITY2.0」の機能が受け継がれていて、創造性、表現力、操作性などがより進化したものとなっています。

まず大きな進化の1つとして64ビットネイティブ対応があります。これにより64ビット OS上でも高速で安定した動作を実現しています。そして64ビット版のVSTも使えるようになり、VST3にも対応しています。

Singer Song Writer Lite 9.5 の魅力である MIDI 編集の機能も強化されています。

スコアエディタでは8分音符にシャッフルのノリをつけて入力できるようになりました。 ピアノロールエディタでは、どのトラックでもマトリクス表示が可能になったことと、ロール表示で鍵盤表示、音名表示の切り替えができるようになりました。また使用するプラグインシンセの種類で変わることのある中央Cの位置をトラック設定であわせることができます。

コントローラ入力画面もより使いやすいものへと進化しています、コントローラ入力画面に入力したデータの入力終了位置に入力前の値を入れるか、入れないかを選択できるようになりました。

AUDIO 関係もパワーアップしています。最新 EDM の AUDIO ループ素材が 200 ファイル追加されました。即戦力の素材が揃っているのでクオリティの高い楽曲を素早く簡単に作ることができます。そして歌声を編集できるボーカルエディタはビブラートの設定がより細かく行えるようになりました。楽曲に合わせたビブラートを自由に作り出すことができます。

プラグインではプラグインシンセ「LinPlug Organ3」が搭載されました。ドローバーで 音つくりができるバーチャルオルガンになります。

そしてミックスなどで力強い味方になってくれるプラグインエフェクトが新たに4種加わっています。

Singer Song Writer Lite 9.5 では、イメージした楽曲を形にできるソフトへと進化しています。

## シャッフル入力モード

スコアエディタにシャッフル入力モードが搭載されました。シャッフル入力モードは8分 音符にシャッフル(跳ねたリズム)のノリをつけて入力できます。入力される音符のタイミ ングは8分3連の音符で入力したときと同じですが、シャッフル入力モードでは譜面上の音 符は8分音符のまま表示され、データ再生時にシャッフルされた状態で音が鳴ってくれます。 譜面上に3連の表示が付かないことで、すっきりした見やすい譜面で作業できます。

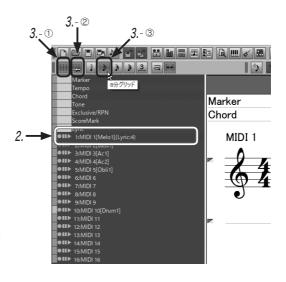
シャッフル入力モードはスコアエディタに対応しています。

### 手 順

**1**. 「スコアエディタ」画面を開きます。

メニューバーの「ウィンドウ」 → 「ウィンドウの起動」 → 「スコアエディタ」を選 択するか、メインツールの「スコアエディタ」ボタン国をクリックします。

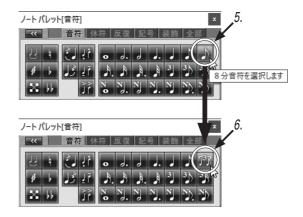
- 2 譜面を表示させたいトラック(パー ト)をクリックして青く点灯させ ます。
- **3** グリッドを8分音符に設定します。 ON (青く点灯) でグリッド線 を表示します。常に表示しておき ましょう。
  - ② ON (青く点灯) でグリッド線 を固定します。常に固定にしてお きましょう。
  - ③選んだ音符でグリッドの間隔が 決まります。ここでは8分音符を 選択します。



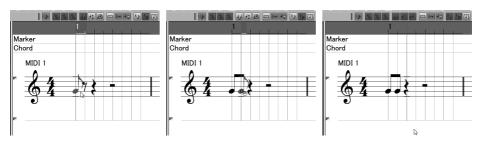
**4**. ノートパレットを表示します。

メニューバー [表示] → 「ノートパレット] を選択するか、「ノートツール」(入力す る音符の選択)ボタン≥をクリックします。

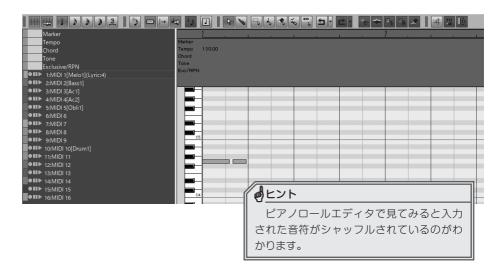
- 5. ノートパレットの8分音符を クリックして選択し、8分音符 を青く点灯させます。
- **6.** 8 分音符が選択されている状態 で、そのままもう一度クリック すると、シャッフル入力モード になります。



7. 五線上でクリックすると、シャッフルされた8分音符が入力されます。



※シャッフル入力モードで入力した音符は譜面上は8分音符のまま表示されます。

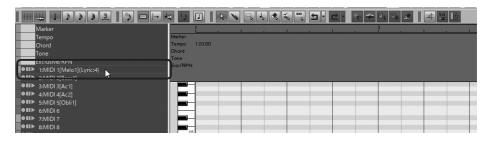


# ピアノロールエディタのマトリクス表示

ピアノロールエディタでドラムパート以外のパートでもマトリクス表示ができるように なりました。これまでのピアノロールエディタのロール表示では音の長さが視覚的に分か るようになっていました。このマトリクス表示では表示されるものが音の長さからベロシ ティの強さに代わっているのが特徴です。マトリクス表示を使うことによりコード(和音) などの同じタイミングで重なってしまっている音のベロシティの調整などが簡単にできる ようになります。

### 手 順

- **1**.「ピアノロールエディタ」画面を開きます。 メニューバーの「ウィンドウ」→「ウィンドウの起動」→「ピアノロールエディタ」を 選択するか、メインツールの「ピアノロールエディタ」ボタン圓をクリックします。
- 表示させたいトラック(パート)をクリックして青く点灯させます。



 $extcolorent{3}$ . ツールバーのマトリクスモードボタンをクリックして青く点灯させると画面がマトリク スモードに切り替わります。







# 國ヒント コードのベロシティを編集する時などにはマトリクス表示が便利です。コントロールエディ タ (Strip Chart) でベロシティを表示させると同じタイミングの音は重なって表示されてし まいますが、マトリクス表示を使うことで1音ずつのベロシティの編集が容易になります。 音が重なって表示される 1音ずつ編集できる [1]. 2.1.0 C 4-60:1738:60:0 60: (14-ca2) rai: e0

(0574(1/2)) Val (11) €

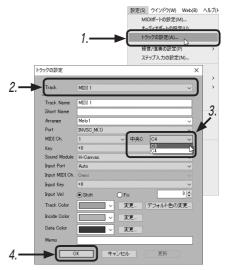
### 4 プラグインの規格に合わせて 中央Cの位置を変更

プラグインシンセによっては中央Cの位置がC4に設定されていたり、C3に設定されていたりと設定位置が異なっていることがあります。

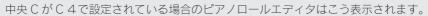
Singer Song Writer Lite 9.5 では初期設定で C4 が中央 C の位置に設定されていますが、C3 を中央 C と設定しているプラグインシンセを使う場合には、1 オクターブずれてしまうので注意が必要です。その場合はトラックの設定から Singer Song Writer Lite 9.5 側の中央 C の位置を C3 にすることができます。

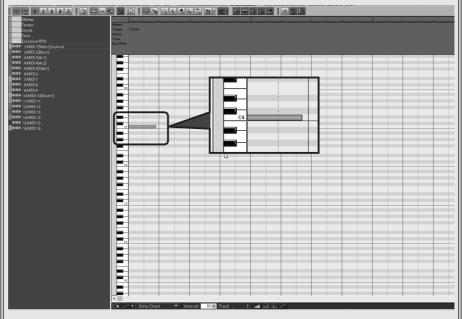
### 手 順

- メニューバーの「設定」→「トラックの設定」 を選択して「トラックの設定」画面を開き ます。
- **2.** 「Track」から変更したいトラックを選択します。
- 「中央C」から中央Cに設定したい位置(C3、C4)を選択します。
- **4.** 「OK」をクリックすると設定が反映されます。

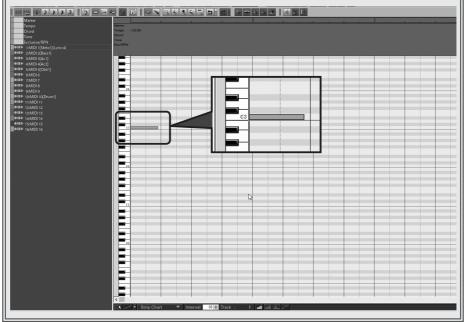








中央 C が C3 で設定されている場合のピアノロールエディタはこう表示されます。



### 5 コントローラ入力画面による データ入力モードの切り替え

コントローラ入力画面に入力したデータの入力終了位置に、「入力前の値を入れる/入れない」の選択ができるようになりました。

入力終了位置に入力前の値を入れない設定は、ボリューム、パン、リバーブなどの入力 した情報がそのあともずっとその値で続いてほしいデータの時に使えます。入力したデー タの最後の値がその後も続きます。

入力終了位置に入力前の値を入れる設定は、ピッチベンド情報やモジュレーションなど、ある一部分にだけかけて入力した後、次の音符に影響しないように元の値に戻したい時に使うと便利です。入力したデータの終わりに入力前の値にもどるデータが自動で入力されます。ピッチベンドデータで変更したピッチの戻し忘れなども防げるのでオススメです。

入力終了位置を設定したコントローラ入力画面におけるデータの入力は、スコアエディタ、ピアノロールエディタで編集できます。

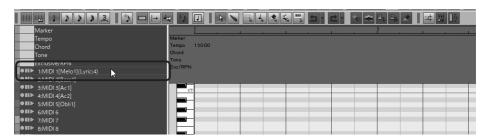
ここでは例として、ピアノロールエディタでボリューム情報を入力するという操作で解説します。

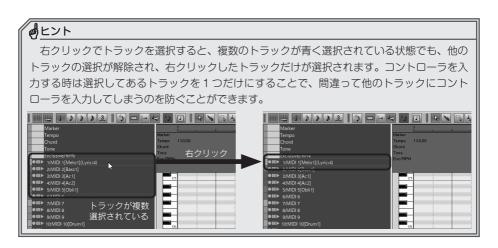
### 手 順

**1.** 「ピアノロールエディタ」画面を開きます。

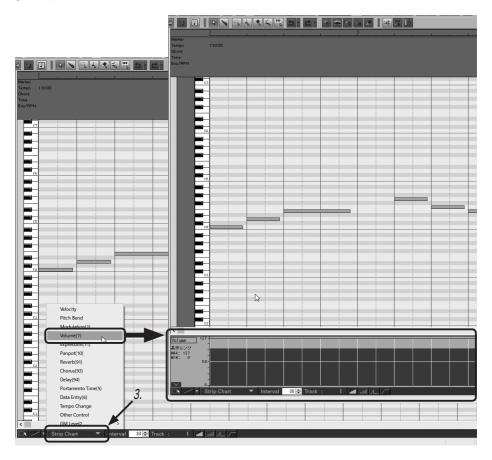
メニューバーの「ウィンドウ」 $\rightarrow$ 「ウィンドウの起動」 $\rightarrow$ 「ピアノロールエディタ」を 選択するか、メインツールの「ピアノロールエディタ」ボタン圏をクリックします。

2. 編集したいトラック (パート)を右クリックして青く点灯させます。



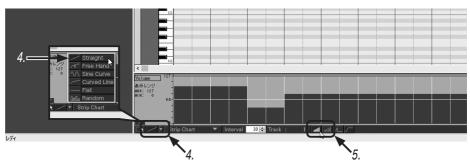


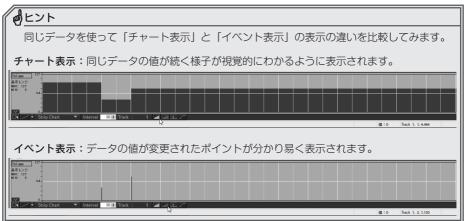
**3.** 「Strip Chart」をクリックして「Volume (7)」を選択します。



- **4.** 線種の▼をクリックして、表示されるメニューから入力する線の種類を選択します。 ここでは「Straight」を選択します。
- **5.** コントローラの表示モードを選択します。

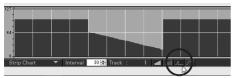
「チャート表示 (■)」と「イベント表示 (■)」のどちらかをクリックして青く点灯させて選択します。ここでは「チャート表示 (■)」を選択します。



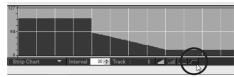


6. コントローラ入力モードを選択します。

「コントローラの終了位置に入力前の元の値を入力する」と「コントローラ入力位置の値はそのまま継続する」のどちらかをクリックして青く点灯させて選択します。

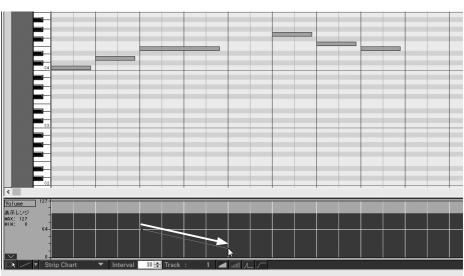


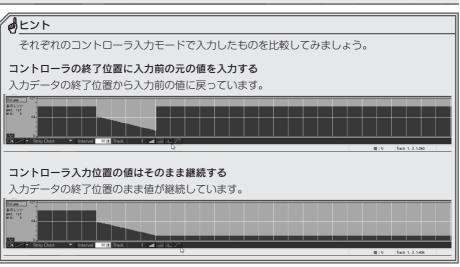
コントローラの終了位置に入力前の元の値を入力する



コントローラ入力位置の値はそのまま継続する

### 7. コントローラ画面でドラッグしてデータを入力します。





### る より自然になった ボーカルエディタのビブラート設定

録音した歌声(オーディオデータ)の音程、タイミング、長さを編集できるボーカルエディタで、ビブラートが細かく設定できるようになりました。

歌声に合わせた自然なビブラートを作り出すことができます。

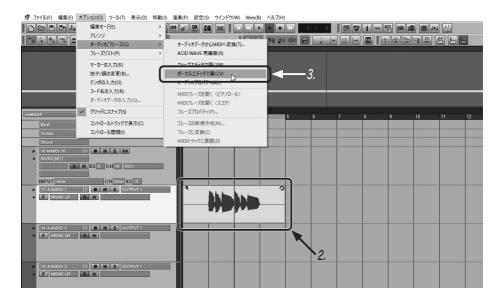
### 手 順

**1.** ソングエディタを開きます。

メニューバーの 「ウィンドウ」 → 「ウィンドウの起動」 → 「ソングエディタ」 を選択するか、 メインツールの 「ソングエディタ」 ボタン 圖をクリックします。

- 2. 録音したクリップをクリックして選択します。
- **3.** ボーカルエディタを開きます。

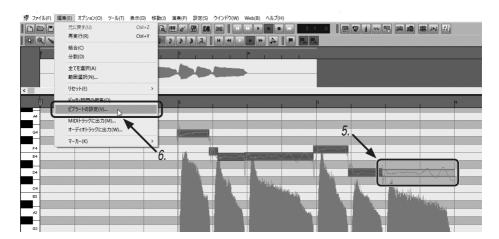
メニューバーの「オプション」→「オーディオ/フレーズ」→「ボーカルエディタで開く」 を選択するか、オーディオ/フレーズツールの「ボーカルエディタ」ボタン圏をクリッ クします。



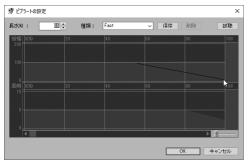
**4**.「ボーカルエディタの設定」ダイアログが表示されるの で「OK」ボタンをクリックします。

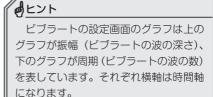


- 5. ビブラートの編集をしたい音をクリックして選択します。
- 6. ビブラートの設定画面を開きます。 メニューバーの「編集」→「ビブラートの設定」を選択します。



7. ビブラートの設定画面ではグラフ上をマウスでドラッグしてビブラートを描くことができます。





8. 試聴します。

「試聴」ボタンをクリックすると試聴 できます。「停止」ボタンをクリック することで試聴を停止できます。



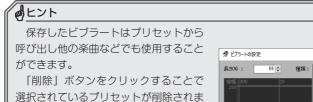
9. 自分で作ったビブラートはビブラートのプリセットとして保存できます。 種類の欄に保存するビブラートの名前を入力し「保存」ボタンをクリックします。



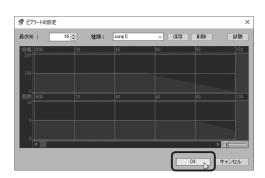
呼び出し

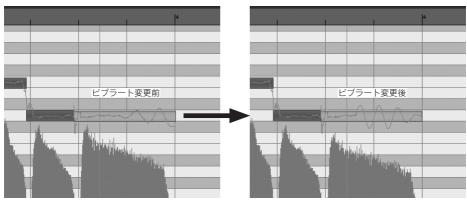
保存 削除

試聽



**10.** 「OK」ボタンをクリックするとビブラートがデータに反映されます。





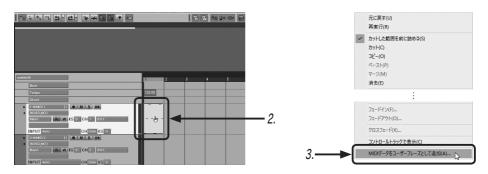
※ソングエディタの閉じ方、データの保存方法は本書7章3の「ボーカルエディタで録音した歌の音程を補正する」の手順12以降を参照ください。

## オリジナルの レーズ・アレンジデータの作成

楽曲の編曲に欠かせないフレーズとアレンジ機能、そのフレーズとアレンジ機能に自分 で作ったフレーズやアレンジデータを登録することができるようになりました。登録でき るデータは MIDI データ、オーディオデータの両方に対応しています。登録したデータは 他の楽曲でも読みだして使うことができます。今回は例として MIDI データをフレーズと して登録する操作をご紹介します。

### 手 順

- 1. ソングエディタを開きます。
  - メニューバーの  $[ \dot{p}_1 \rightarrow [ \dot{p}_2 \rightarrow [ \dot{p}_3 \rightarrow [ \dot{p}_4 \rightarrow [ \dot{p}_5 \rightarrow [ \dot{p}_5$ メインツールの「ソングエディタ」ボタン圖をクリックします。
- 登録したいデータのクリップをクリックして選択します。
- 3. クリップの上で右クリックして表示されるメニューから「MIDI データをユーザーフレー ズとして追加」を選択します。



**4**. ユーザーフレーズの追加画面の「試 聴」ボタンをクリックして追加す るフレーズを確認します。

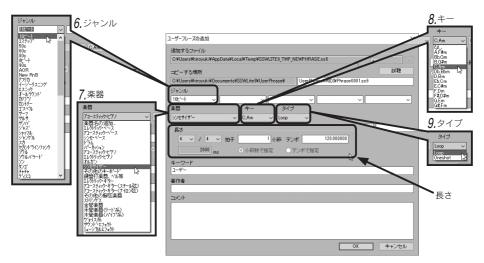


**5.**「停止」ボタンをクリックして試聴を停止します。





- **6.** ジャンルから登録するジャンルを選択します。 ジャンルは最大5つまで登録できます。
- 7. 楽器から登録する楽器を選択します。
- 8. キーから登録するデータのキーを選択します。
- 9. タイプから登録するデータのタイプを選択します。 「Loop」はループするデータ、「Oneshot」はループしないデータになります。

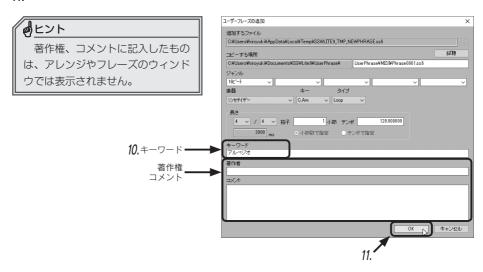


#### d ヒント

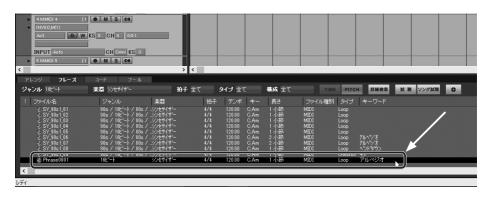
長さ欄の拍子、テンポなどは現在開いているソングの情報、小節は選択したクリップの長さが自動で表示されます。通常はそのままで大丈夫ですが、実際のデータと小節数が違っているというような場合は正しい値に修正することができます。

10.キーワード欄に入力したいキーワードがあれば入力します。 キーワードを入力しておくと後でデータを探す時の手がかりになります。

11. [OK] をクリックするとユーザーフレーズとして登録されます。



実際に登録されたものは以下のように表示されます。



## 8

## 自動バックアップ機能

予期せぬトラブルでソフトが止まってしまっても、次に Singer Song Writer Lite 9.5 を起動した時にその場所から再スタートできる機能になります。

### 手順

- メニューバーの「ファイル」→「バックアップの設定」 を選択します。
- **2.** 「バックアップファイルを保存する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れ、自動バックアップ機能を有効にします。
- **3.** 保存間隔で何分おきにバックアップするかを設定します。

上下の▲▼をクリックするか、直接数字を入力して 設定します。

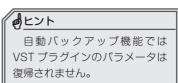
**4.** [OK] をクリックすると設定したものが有効になります。





自動バックアップ機能が有効になっている状態で、 予期せぬトラブルでソフトが停止してしまった後に ソフトを起動すると、右図のような画面が出てきま す。「はい」をクリックすると自動バックアップ機能 で保存されていた状態まで戻って起動します。





# のサブメニュー位置をカスタマイズ

VST ごとに VST のサブメニュー位置をカスタマイズすることができます。よく使用す る VST を見やすい位置へ移動させるなど自分で操作しやすい環境を作ることができます。 ここでは操作手順の例として「StereoDelay」をメニュー位置「Delay」から「Filter」へ 移動させます。

### 手 順

1. Singer Song Writer Lite 9.5 を起動したままのソングを開いていない状態にします。



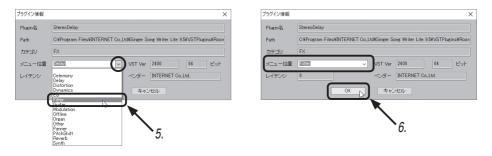
2. メニューバーの「設定」→「VST プラグイン設定」を選択します。



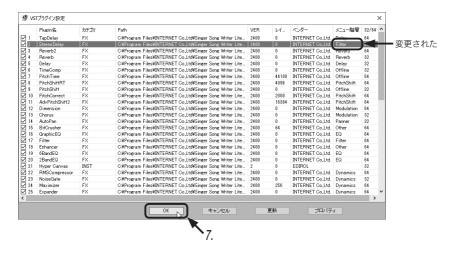
3. サブメニュー位置を移動したい VST をクリックして青く点灯させます。 ここでは「StereoDelay」を選択します。画面右側にある「メニュー階層」に、現在の メニュー位置が表示されています。



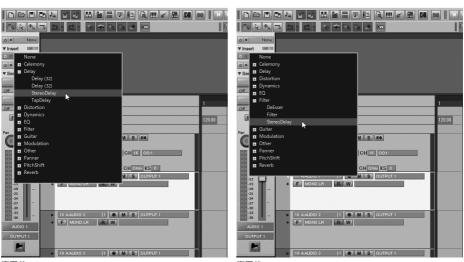
- **5.**「プラグイン情報」画面のメニュー位置から移動したいメニュー位置を選択します。 ここでは「Filter」を選択します。
- **6.** 「OK」をクリックすると設定が反映されて「プラグイン情報」画面が閉じます。 メニュー階層に表示されているメニュー位置も変更したものに変わっています。



**7.** [VST プラグイン設定」画面で「OK」ボタンをクリックして「VST プラグイン設定」画面を閉じます。



実際にソングでプラグインを読みだしてみると表示位置が変わっているのがわかります。



変更前 変更後

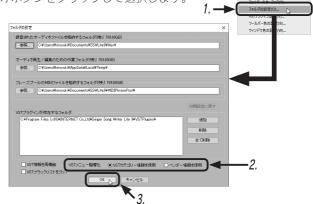
# ┃⋂ VSTメニュー階層化の表示方法を選択

VST プラグインの階層化の表示方法が選択できるようになりました。

プラグインはカテゴリーごと、もしくはベンダー(販売元の名前)ごとで分けて表示することができます。

### 手順

- 1. メニューバーの「設定」→「フォルダの設定」を選択します。
- 2. フォルダの設定画面が表示されるので、「VST メニュー階層化」 欄から「VST カテゴリー情報を使用」もしくは「ベンダー情報 を使用」のどちらかのラジオボタンをクリックして選択します。
- FOK」をクリックすると 設定が反映されてフォル ダの設定画面が閉じます。



設定(S) ウインドウ(W) Web(B) ヘルブ(I MIDIボートの設定(M)...

オーディオポートの設定(U)... トラックの設定(A)...

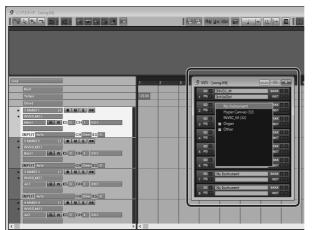
録音/演奏の設定(P) ステップ入力の設定(N)... トラックビューに顧表を表示(F) スコアの設定(S) 印刷レイアウトの設定(V) 数詞表示トラックの設定(L)...

セットアップ小館の設定(E). キーボードの設定(K)...

ドラム顕表の設定(D) ギターシンセの設定(G)... ショートカットキーの設定(C).

実際に VST インストゥルメントを開いてみると表示方法が変わっているのがわかります。







カテゴリーで表示

ベンダーで表示



## ┓┓ 新しく収録されたプラグインシンセ

オルガン音源の「LinPlug Organ 3」が新たに収録されました。ハモンドオルガンをシミュレートした音源でドローバーを使って音作りをすることができます。

「LinPlug Organ 3」の起動から音色の選び方までを説明します。

### 手順

**1.**「ソングエディタ」画面を開きます。

メニューバーの  $[ \dot{p}_1 \rightarrow [ \dot{p}_1 \rightarrow [ \dot{p}_2 \rightarrow [ \dot{p}_3 \rightarrow$ 

**2.** 「VSTi」ダイアログを開きます。

メニューバーの「ウィンドウ」 $\rightarrow$ 「ウィンドウの起動」 $\rightarrow$ 「VST インストゥルメント」を選択するか、メインツールの「VST インストゥルメント」ボタン $\blacksquare$ をクリックします。



3. VSTi 名(何も VSTi が設定されていない場合は No Instrument と表示)をクリックして表示されるメニューから、「Organ」左側の「+」をクリックすると「Organ3\_SSW9」が表示されるのでクリックして選択します。

[LinPlug Organ 3] はここでは [Organ3\_SSW9] と表示されています。



**4** ソングエディタのトラック設定パネルで、MIDIトラックの出力デバイス欄をクリックし て「Organ3 SSW9」を選択します。

「Organ3 SSW9」を選択したトラックの MIDI チャンネルは 1 にしておきます。



*5.* トラック設定パネルの「VSTi パネル」 ボタンをクリックして「Organ3\_SSW9」 のエディ ターを表示します。



6. エディター右下にある Bank をクリッ クして表示されるメニューから音色の カテゴリーを選択します。

### **๗**ヒント

Bank とはパソコンでいうフォルダのよう なものです。この Bank の中に音色が収納 されています。

### 7. Preset をクリックして表示されるメニューから音色を選択します。





## 新しく収録されたプラグインエフェクト

新たに「STEREO DELAY | 「REVERB 2 | 「Adv.Pitch Shift 2 | 「Pitch Shift RT | の4種 類のプラグインエフェクトが追加されました。ここではそれぞれの特徴をご紹介します。 エフェクトのかけ方は10章「ミックスとマスタリング」を参照ください。

### [STEREO DELAY]

LチャンネルとRチャンネルというものが あるディレイになります。それぞれのチャンネ ルごとにディレイの設定を変えてかけること ができるのが STEREO DELAY の特徴です。 STEREO DELAY ではピンポンディレイといっ てLチャンネルとRチャンネルでディレイの値 を変えることで、ディレイの音が左右でコダマ しているような効果を作ることができます。ピ ンポンディレイはギターのソロパートやボーカ ルパートにかけると広がりが出て効果的です。

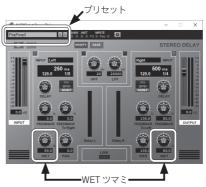
ピンポンディレイのパターンはプリセットか ら選ぶこともできます。

### **あ**ヒント

ピンポンディレイのエフェクト量は少なめに しておきましょう。

エフェクトのかかり具合はWETツマミで調 整できます。WETツマミの量を少なくするこ とでディレイの効果が少なくなります。

WETツマミはLチャンネルとRチャンネル にそれぞれあるので両方を同じ値に調整しま しょう。





### [REVERB 2]

リバーブ音にイコライザーをかけることができるリバーブになります。プラグインのエディター画面上段にイコライザーの画面が表示されていて、直接バンドをドラッグすることでイコライザー調整ができるようになっています。

リバーブ音の低音部分は音がこもってしまう原因になるので、ミックスなどではイコライザーを使ってリバーブの低音だけをカットするということがよくあります。この「REVERB 2」ではリバーブ自体にイコライザーが付いているので後からイコライザーで調整する手間がかからないというメリットがあります。



リバーブとイコライザーが設定されたものをプリセットから選ぶことができます。まずはプリセットから選択してそこから自分好みに微調整していくことをオススメします。





### [Adv.Pitch Shift 2]

ピッチシフトとフォルマントを調節できるエフェクトです。例えばボーカルのパートにかけることで声の音程を変えること(ピッチシフト)ができます。

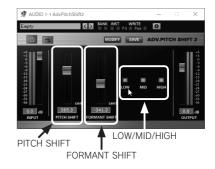
声の音程を変えると声質が変わってしまいますが、このエフェクターでは声質を調整できるフォルマントが付いています。ピッチシフトと合わせ



てフォルマントを調整することで本来の声質 (声 のキャラクター)を保ったまま音程を変えること ができます。

PITCH SHIFT のスライダーを上げるとピッチ が高く、下げると低くなります。

FORMANT SHIFT のスライダーを上げると女 性らしく、下げると男性らしくなります。

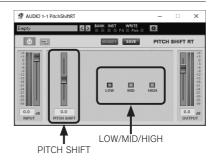


「Adv.Pitch Shift 2」は多くの処理を行うためパソコンの性能によっては試聴時に音が途 切れることがあります。音が途切れる場合はクオリティ(LOW/MID/HIGH)を LOW に 設定しましょう。

### [Pitch Shift RT]

リアルタイムに音程を変えることができるエ フェクトです。

「Adv.Pitch Shift 2」ではピッチとフォルマント を処理している分パソコンに負荷がかかっていま したが、「Pitch Shift RT」ではピッチのみ処理す る分、「Adv.Pitch Shift 2 よりも負荷が軽くなり ます。オーディオデータを再生しながら PITCH SHIFTの値を調整するなどリアルタイムに操作 できるのが特徴です。



「Pitch Shift RT」でも試聴時に音が途切れる場合はクオリティ(LOW/MID/HIGH)を LOW に設定しましょう。

新バージョンになって追加された機能や、音源、エフェクトはいかがでしたか?

Singer Song Writer Lite 9.5 にはこれらの他にも、楽曲制作をサポートしてくれる機能が たくさん用意されています。これをきっかけに今まで使うことのなかった機能も試してい ただき、Singer Song Writer Lite 9.5 をより一層活用していただければ幸いです。

### ◎著者紹介

平賀宏之(ひらがひろゆき)

1974年生、ローランド・ミュージック・スクールで作編曲、コンピューターミュージックを学ぶ。作編曲、シンセサイザーのマニピュレーター、DAWソフト攻略本の執筆、さまざまなDAWの認定講師としてセミナーなど各方面で活動中。また、ローランド・ミュージック・スクール講師資格の認定オーディションや各種研修会も担当し後進の育成にも力を注ぐ。インターネットを使ったオンラインミュージックスクール オトマナビ代表、MIDI検定資格指導者、ローランド・ミュージック・スクール指導スタッフ講師、トート音楽院講師。

## Singer Song Writer Lite 9.5 についてのお問い合わせ先

#### ■製品の詳細

以下ホームページでご確認ください。お 問い合わせ先も案内されています。 http://www.ssw.co.jp/

#### ■製品購入後のお問い合わせ

詳細は次の URL からご参照ください。 http://www.ssw.co.jp/support/contents/ support\_access/

または、製品に付属のマニュアルに記載 されているユーザーサポート窓口までお 問い合わせください。

シンガー ソング ライター ライト

### イチからはじめる Singer Song Writer Lite 9 〈version 9.5 差分〉

—— はじめて DAW に触れる人から使いこなしたい人まで

発行日 2017年10月5日 第1版

著 者 平賀宏之

発行人 池田茂樹

発行所 株式会社スタイルノート

〒 185-0021

東京都国分寺市南町 2-17-9 ARTビル 5F

(Singer Song Writer Lite に関するお問い合わせは、上記をご確認ください)

E-Mail books@stylenote.co.jp

URL http://www.stylenote.co.jp/

協 力 株式会社インターネット

© 2017 Hiroyuki Hiraga Printed in Japan

書籍 ISBN978-4-7998-0135-2 C1004

本書の内容に関する電話でのお問い合わせには一切お答えできません。メールあるいは郵便でお問い合わせください。なお、返信等を致しかねる場合もございますのであらかじめご承知置きください。本書は著作権上の保護を受けており、特に法律で定められた例外を除くあらゆる場合においての複写複製等 二次使用は禁じられています。